

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨
未成年者甲野一郎の監護者を申立人と指定するとの調停を求めます。

申 立 て の 理 由
1 申立人と相手方は、令和〇年〇月〇日に結婚し、令和〇年〇月〇日に協議離婚しました。
2 離婚に際し、申立人は、未成年者の親権者になることを強く希望したのですが、相手方は、自分が親権者にならなければ離婚しないと主張しました。そのため、親権者は相手方でも仕方ないが、未成年者の監護者は申立人とすることを強く主張したのですが、相手方はそれさえも承諾しませんでした。
3 申立人としては、相手方の暴力が激しかったこともあり、とにかく離婚するために、未成年者の親権者を相手方とすることに承諾しました。
4 しかし、未成年者の監護者としては申立人が適任であると考えますので、この申立てをします。